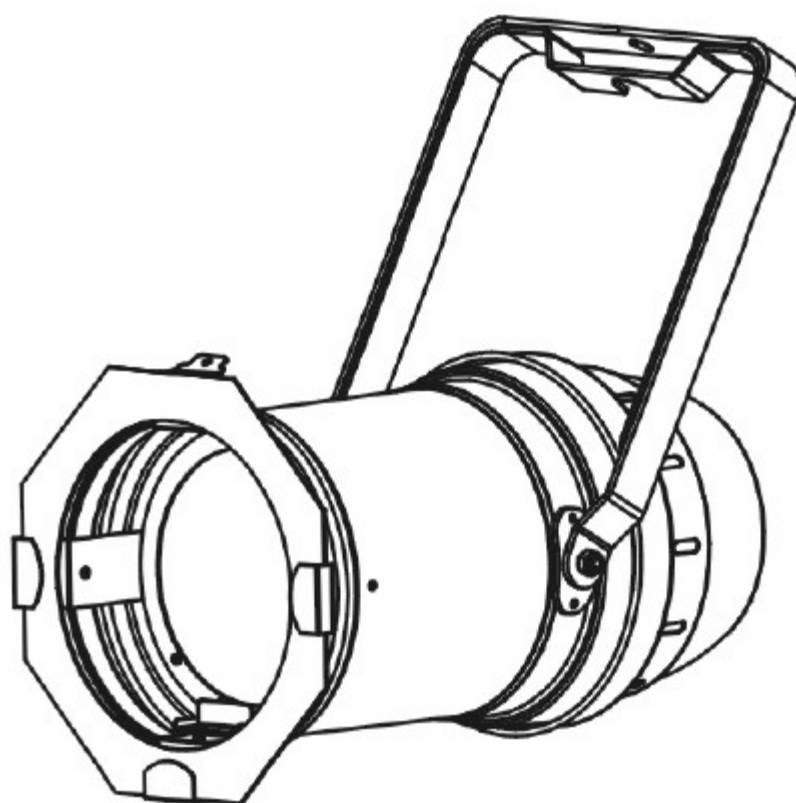




LED-PAR-100 IP

取扱説明書



LED-PAR 100 WW/CW IP

目次

1. 安全ガイド
2. 技術仕様
3. インストールとステッチング
4. 本体の設置
5. ランプの制御方法
6. DMX512構造
7. DMX512接続
8. 故障処理
9. メンテナンス

1. 安全ガイド

本製品をご使用になる前に、この説明書を必ずよくお読みください。



警告 単なる使用方法だけでなく、より永く安全にお使いいただくための諸注意事項が記載されています。

- 後で参照するために、この説明書は常に本体に近い場所に保管しておいてください。もしも本製品を他に人に譲る場合は、必ずこのマニュアルを付属してください。
- 運送中の等で本体が破損している恐れがあります。最初に本体を開封する時には特に注意し、傷やダメージ等がないか確認してください。
- 電源コード等を使用中にいたずらに触ることはおやめてください。感電の危険性があります。
- メンテナンスや各種クリーニングを行う場合は、必ず作業の前に電源を切ってください。
- 本製品は発熱します。設置する場合には少なくとも天井面や壁面等から 50 cm以上離してご使用ください。また、設置する際ファンの排気口がふさがれていないかどうかをよくご確認ください。
- 本製品の最大環境温度は40℃です。設置前に温度環境を計り、これ以下温度の場所に設置してください。
- 本製品の表面ランプが点灯しているときは、表面温度が 85℃ に達することがあり、手で触れないでください。
- 本体の操作中に動作がおかしいと感じたら、すぐ電源を切り、販売店にご連絡ください。本体にはユーザー自身でサポートできる部品は一切ありません。ユーザー自身で修理を試しないでください。
- このデバイスを調光器に接続しないでください
- 本製品は輸入品ですが、日本国内の電源事情（AC100V～ 240V、50/60Hz）に合わせて製作されています。他の電圧等で使用しないでください。
- 感電や火災の危険を防ぐため、照明器具を雨や湿気にさらさないでください。
- 機械ケーシングが損傷している場合は、交換してください。
- 本体の光源には高輝度 LEDを使用しています。直接見ることはおやめてください。目や脳に対して重大なダメージを与える恐れがあります
- ご使用の機器に異常が発生した場合は、直ちに使用を中止し、最寄りの認定技術センターにご連絡ください。ユーザー自身で修理を試しないでください。技術者以外の人による修理は、機械の損傷または誤動作の原因となります。

【危険】

- 感電や火災等の重大事故を避けるため、本製品を雨や多湿の環境には絶対に設置しないでください。
- 本体のハウジング、内部のレンズ等にダメージが見られる場合は交換を申し出てください。

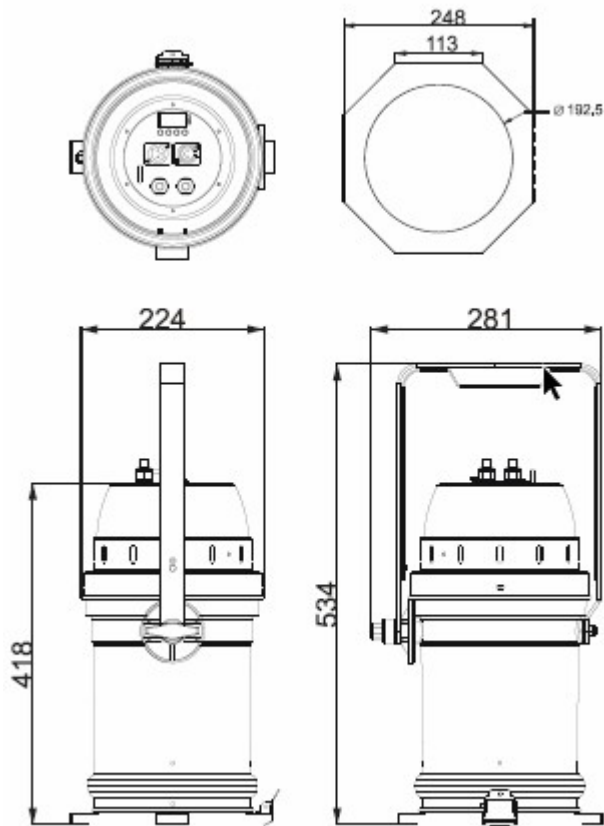
【注意】

本製品にはユーザー自身でサービスパーツは一切含まれていません。ご自身で修理を試みる事は絶対におやめいただき、ご購入販売店に連絡ください。

2. 技術仕様

- ◇ モード : DMX
- ◇ ビーム角度 (9° / 15° / 20° / 25° / 30°)
- ◇ LEDディスプレイ

- ◇ 入力電圧 : AC 100V~240V, 50/60Hz
- ◇ 消費電力 : 116W
- ◇ LED光源 : 1 x 100W 電球色 / 白色 LED
- ◇ 重量 : 4.5Kgs
- ◇ 寸法 : 415 x 275 x 224 mm
- ◇ IP : X4
- ◇ 色温度 : LED-PAR100WW IP3000K/LED-PAR100CW IP 5700K



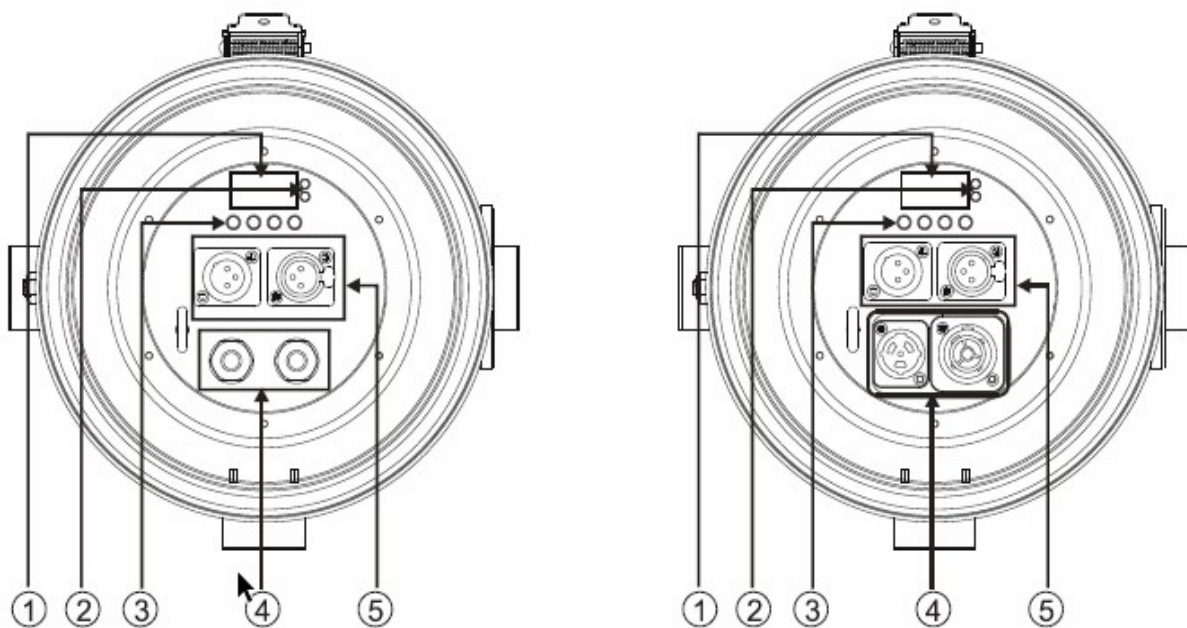
3. インストールとステッチング

- 照明器具はブラケットにネジ止めする必要があります。操作中にチャタリングが発生しないようにしっかりと取り付けてください。また、固定具を保持するブラケットが安定し、装置の重量の 10 倍以上をサポートできることを確認してください。同時に、機器を設置するときは、製品重量の 12 倍を支える安全ロープを使用してください。
- 装置は専門家によって設置されなければならない。機器の設置は絶対に人が触れないところに設定してください。歩行者が通過する場所や座る場所はありません。ランプの設置高さは 0～ 30Mです

4. 本体の設置

1. リアパネル
2. 主な機能

4.1 リアパネル



❶ ディスプレイ：メニューと機能

❷ LED インジケータライト

POWER

明るい

電源入力あり

DMX

点滅

信号入力あり

③ ボタン：

MENU	選択機能
DOWN	次のメニューを選択
UP	前のメニューを選択
ENTER	確認

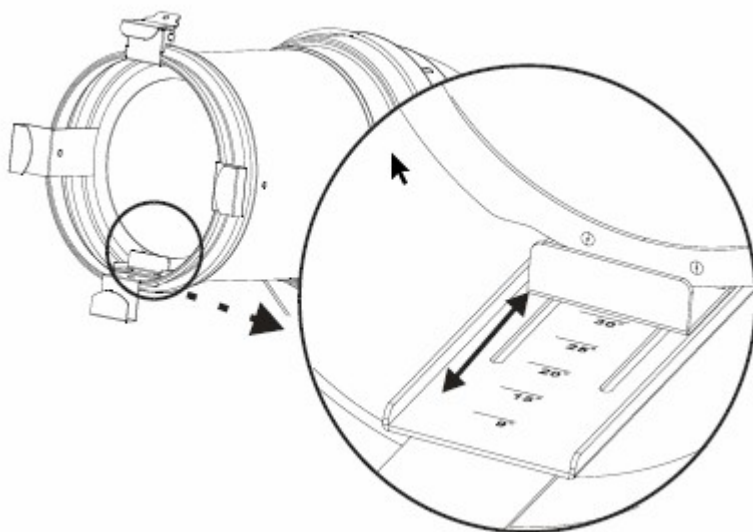
④ 電源入力/出力

⑤ DMX 信号入力/出力

DMX512 接続の場合は、3/5ピン XLRケーブルを使用してDMX信号を入力し、次のフィクスチャに接続します。

ビーム角は手動で調整できます。

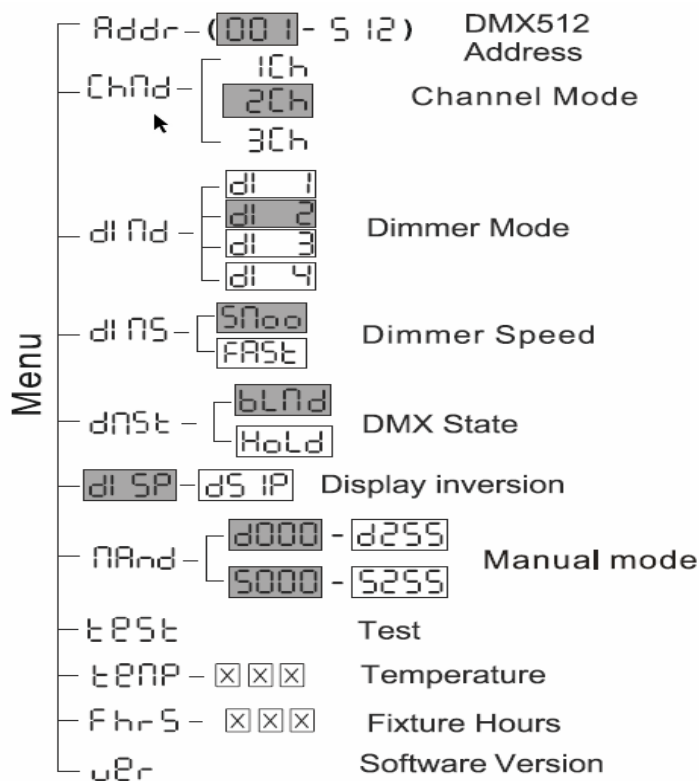
(9° / 15° / 20° / 25° / 30°)



4.2 主な機能

プリセット機能を選択し、MENU ボタンを押して、必要なメニューオプションを選択してください。ENTER ボタンを押して選択した機能に入り、UP / DOWN ボタンを使って目的の機能を選択し、ENTER ボタンを押して確定します。または、メニューモードを自動

的に終了するには 8 秒間待ちます。メインメニューに戻るには、MENU ボタンを押します。
 主な機能は次のとおりです



Addr DMX512 アドレス設定

Addr を選択し、ENTERボタンを押して確定すると、ディスプレイが点滅します。

UP / DOWN ボタンを使って開始アドレス (001-512) を見つけ、ENTERボタンを押して確定します。または 8 秒間待ってメニューモードを自動的に終了します。メインメニューに戻るには、MENU ボタンを押します。

Addr

ChNd チャンネルモード

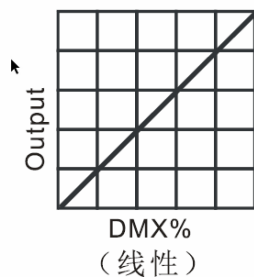
ChNd を選択し、ENTERボタンを押して確定し、DOWN / UP ボタンを使用してチャンネルモードを選択し、1Ch 1チャンネルモード、2Ch 2チャンネルモード、3Ch 3チャンネルモードを選択します。選択後、ENTERボタンを押して確定するか、8秒間待つてメニューモードを自動的に終了します。メインメニューに戻るには、MENU ボタンを押します。

di Nd 調光モード

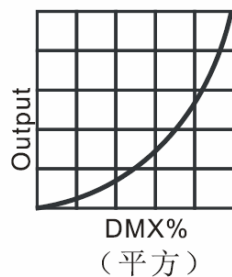
di Nd を選択し、ENTERボタンを押し、UP / DOWN ボタンを使って、

di 1...di 4 を選択し、別の調光カーブを選択して ENTERボタンを押して確定するか、8秒間待つてメニューモードを自動的に終了します。メインメニューに戻るには、MENU ボタンを押します。

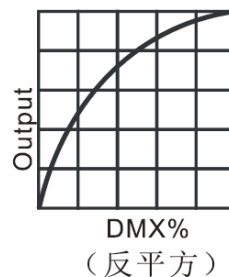
調光モード： 1



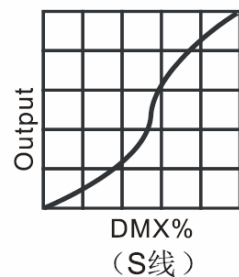
2



3



4



モード 1（線形）：DMX値が増加すると、光強度の増加は線形になる傾向があります。

モード 2（平方）：光度を低い値に制御すると線が細くなり、高い値では線が太くなります。

モード 3（反平方）：光強度は、低い値では厚く、高い値では薄くなるように制御される。

モード 4（S線）：光量を低い値に制御し、ラインがより高い値でより細く、ラインは中間値でより太い。

dmSt DMX 状態

dmSt を選択し、ENTERボタンを押し、UP/DOWN ボタンを使って、**blnd** ス

タンバイまたは**Hold** ホールドを選択します。選択後、ENTERボタンを押して確認するか、8秒間待つてメニューモードを自動的に終了します。メインメニューに戻るには、MENU ボタンを押します。

di SP 画面表示

di SP を選択し、ENTERボタンを押し、UP / DOWN ボタンを使って、

di SP ディスプレイの正面に表示するか、**di SP** ディスプレイの裏側に表示するかを選択してENTERボタンを押して確定するか、8秒間待つてメニューモードを終了します。メインメニューに戻るには、MENU ボタンを押します。

nAnd 手動モード

PAnd を選択し、ENTERボタンを押して決定し、DOWN / UP ボタンを使って、

d000 (d000-d100) 明るさの調整

S000 (S000-S100) またはストロボ速度を選択します。選択後、ENTERボタンを押して確認するか、8秒間待つてメニューモードを自動的に終了します。メインメニューに戻るには、MENU ボタンを押します。

tPSt ランプの自己診断

tPSt を選択し、ENTERボタンを押すと、点滅するランプが点灯し、照明器具が自動的に検出します。自動検出が完了すると、メインインターフェイスが返されます。メインメニューに戻るには、MENU ボタンを押します。

tENP 温度表示

tENP を選択し、ENTERボタンを押し、上 / 下ボタンを使用して、**2.000**

XXX 表示したいフィクスチャの温度を選択します。メインメニューに戻るには、MENU ボタンを押します。

FhrS ランプの使用時間

FhrS を選択し、ENTER ボタンを押すと、照明器具の使用時間が表示されます。メインメニューに戻るには、MENUボタンを押します。



ソフトウェアのバージョン

MENU ボタンを押し まで、ENTER ボタンを押すと、ディスプレイに照明器具のバージョンが表示され、メインメニューに戻り、MENU ボタンを押します

5. ランプの制御方法

◎ DMX コンソールコントロール：

新しいアドレスコードは、フィクスチャの電源を切ることなく即座に設定することができます。照明器具がオンになると、DMX 信号の場合、保存されたチャンネルアドレス (001-512) がディスプレイに表示され、照明器具は標準 DMX512 信号制御を受信する。

6. DMX512 構造

チャンネル：

1 Channel Mode

Channel	Value	Function
1	0-255	Dimmer 0→100%

2 Channel Mode

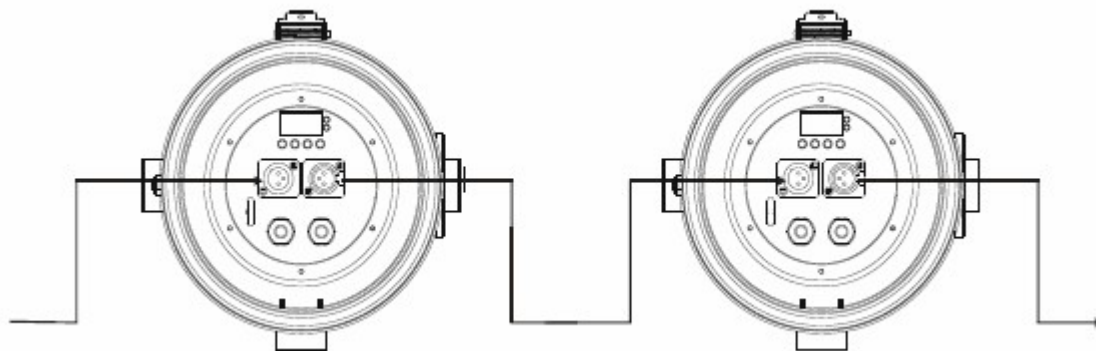
Channel	Value	Function		
1	0-255	Dimmer 0→100%		
2	0-5	Open	Flash	
	6-123	Flash Rate, slow to fast		
	124-127	Open		
	128-168	random strobe		slow ↓ to fast
	169-208	random strobe		
	209-249	random strobe		
	250-255	Open		

3 Channel Mode

Channel	Value	Function		
1	0-255	Dimmer 0→100%		
2	0-255	Dimmer fine		
3	0-5	Open	Flash	
	6-123	Flash Rate, slow to fast		
	124-127	Open		
	128-168	random strobe		slow ↓ to fast
	169-208	random strobe		
	209-249	random strobe		
	250-255	Open		

7. DMX512 接続

モード接続：



1. 照明器具をXLR信号ケーブルに接続します。一方の端は照明器具の出力に接続し、もう一方の端を次の照明器具の入力に接続します。XLR信号ラインは直列でのみ使用でき、並列に接続することはできません。DMX512の信号伝送速度は非常に高速です。信号線の損傷、溶接部不良、接触不良などは、信号伝送に影響を与え、システムがシャットダウンします。
2. ユニットの電源が切断されると、DMX出力と入力接続がバイパスされ、DMXラインが引き続き接続されます。
3. 最後のランプのDMX線には増幅器が必要です。pin2とpin3の間に120Ωの1/4W抵抗を溶接し、3ピンXLRプラグの内側に設置し、最後のランプのDMX出力に接続します。
4. 各ランプには、コンソールからの情報を受信できるアドレスコードが必要です。範囲は1～512の間です。(通常0&1と1が等しい)
5. 3/5ピンXLRコネクタ：PIN 1：GND、PIN 2：マイナス信号、PIN 3：プラス信、PIN 4：空白、PIN 5：空白。

8. 故障処理

以下は、操作中に頻繁に発生する問題の一部です。トラブルシューティングのためのいくつかの提案：

- 照明器具は動作せず、照明もありません。

1. 電源の接点とヒューズが損傷していないことを確認します。
2. 電圧を検出します。

- コンソールで制御できません。

1. DMX インジケータが点灯している必要があります。点灯していない場合は、DMX信号コネクタと信号ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。
2. DMX インジケータがオンになっているが、チャンネルコントロールに反応しない場合は、アドレスコードの設定が正しいことを確認してください。
3. DMX 信号の送信が間欠的な場合は、カセットが信号ケーブルに接続されているかどうかを確認します。
4. 別のコントローラで試してみてください。
5. DMX 信号ラインと高電圧ラインの間の距離が近すぎるかどうかを確認し、信号回路の検出を破損または妨げます。

9. メンテナンス

照明をより良くするためには、照明器具を頻繁に清掃する必要があります。クリーニングの頻度は環境によって異なります。湿気が多い、スモーキー、特に汚れた環境では、ほこりがレンズに蓄積する可能性があります。

- ソフトリネンと専用のガラスクリーナーを使用してください。
- 慎重に乾燥させてください。
- 20 日ごとに治具の外表面を清掃し、30 日または 60 日ごとに内表面を清掃することをお勧めします。

Innovation, Quality, Performance